

# 農薬散布機 K-699-T 製品のご紹介



タキゲン製造株式会社  
原田 卓摩

# 会社紹介

TAKIGEN

## タキゲン製造について

タキゲンは東京都品川区に本社をかまえる1910年創業の産業用金物メーカーです。農業従事者の皆様には馴染みが薄いかと思いますが、全国に16店舗、海外に4店舗をかまえる会社です。タキゲンは産業用金具の総合メーカーとして、日本最大級のラインナップを誇る約8,000種類の取扱製品を揃え、あらゆる分野での製造業のニーズにお応えしています。

- 社名 タキゲン製造株式会社
- 創立 1910年3月18日
- 資本金 4億6,000万円
- 代表者 代表取締役 田中 貢
- 所在地 東京都品川区西五反田1-24-4
- 正社員数 436名



創業明治43年  
タキゲン製造株式会社  
永い歴史と最新の技術 品質保証の TAKIGEN マーク



## 農家の課題

タキゲンと農業の出会い

# 人手不足

弊社はお客様の声をもとに製品開発を行うメーカーで、2009年に農業製品開発チームが発足しました。

全国に広がる支店のネットワークとフットワークの軽さで、農家の皆様が日々の作業で感じる架台を解決する製品を作ることを目指しています。

近年、人手が不足しており作業効率をいかに向上させるかが大きな課題となっております。我々はお客様へ解決策をご提案させて頂き、作業効率向上と収益性の向上に貢献することを目指しています。

# 製品のご紹介

## パイプレールシステム C-1670シリーズ



### パイプレールとは

トマト栽培において、重労働となっている、高所作業、重い収穫物の運搬、農薬散布の作業を軽減させるため、通路にパイプレールを設置する農家が増えています。

### 施工性

単管パイプ（ $\phi 31.8\text{mm}$ や $\phi 48.6\text{mm}$ ）とレール用部品を使用することで、施工時間を大幅に短縮しハウス内へレールを設置できます。1列30mで約20分で設置できます。

### メンテナンス性

市場でよく見かける単管パイプを使用しているため、交換メンテナンス時の部材入手性が非常に良いです。



# 土耕レール併用型電動作業車 K-680-T-1



## 高所の安定性

タイヤで走行する高所作業車とは違い、パイプレール上を走行するため安定感がよく、ハンドル操作も不要になるので、作業時間が短縮します。

## 自動走行

自動走行モードと速度調整ダイヤルが搭載されています。フットスイッチがブレーキになります。

## レール・地面走行可

レール車輪とエアレスタイヤが付いているため、トマトの定植直後のパイプレールを施工していないタイミングでも、高所の作業が行えます。

## 農薬散布機 ～開発コンセプト～

農薬散布業務は  
園主から従業員へ

軽量  
簡単操作  
機能を絞って安価に





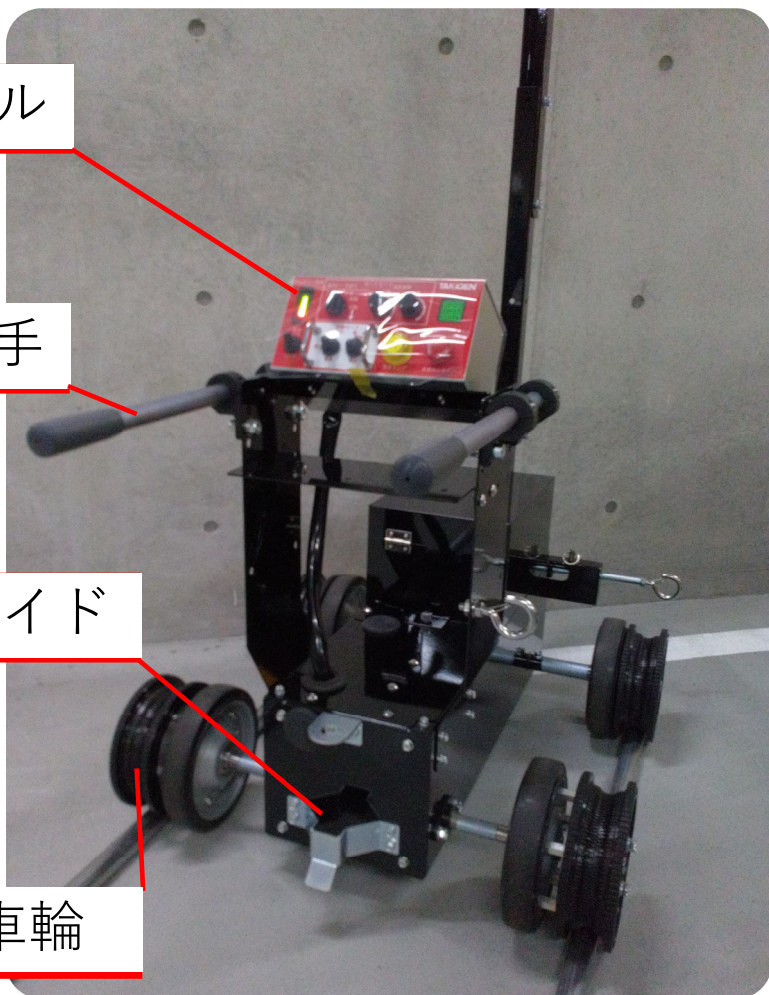
# 農薬散布機 各部名称

操作パネル

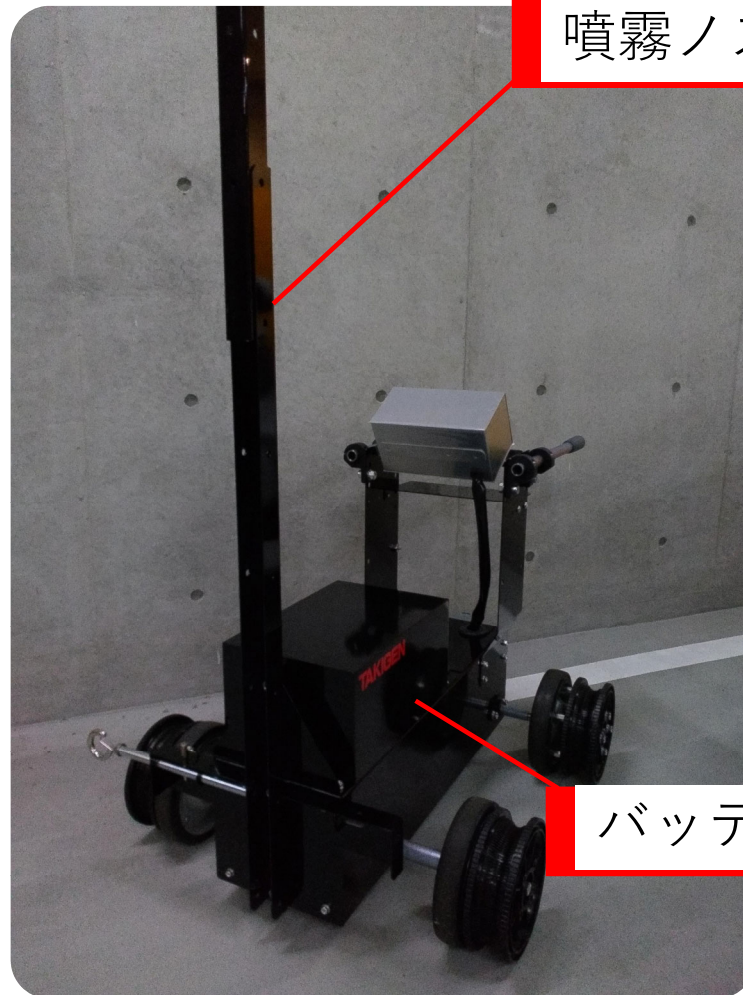
移動用押手

ホースガイド

レール車輪



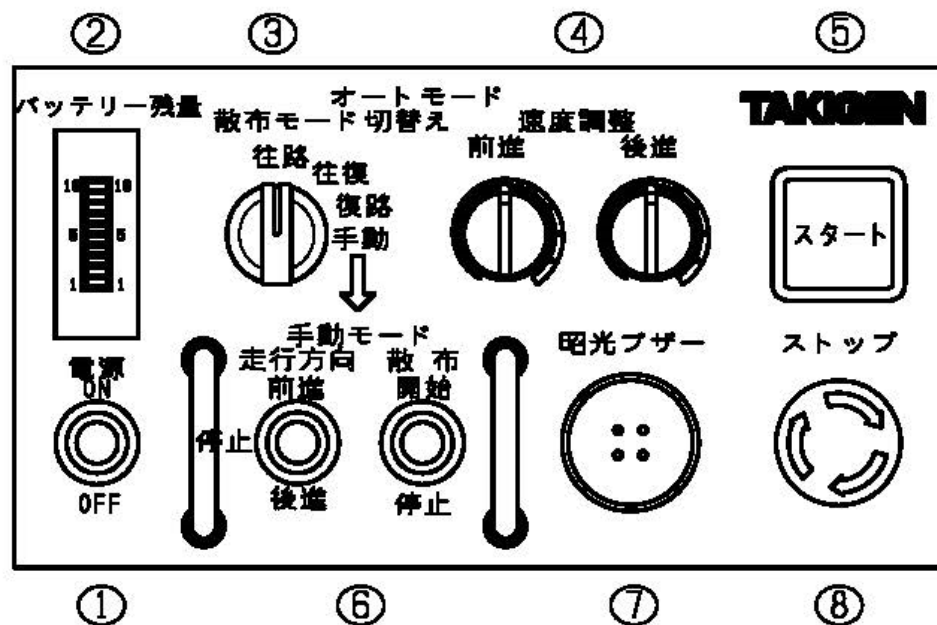
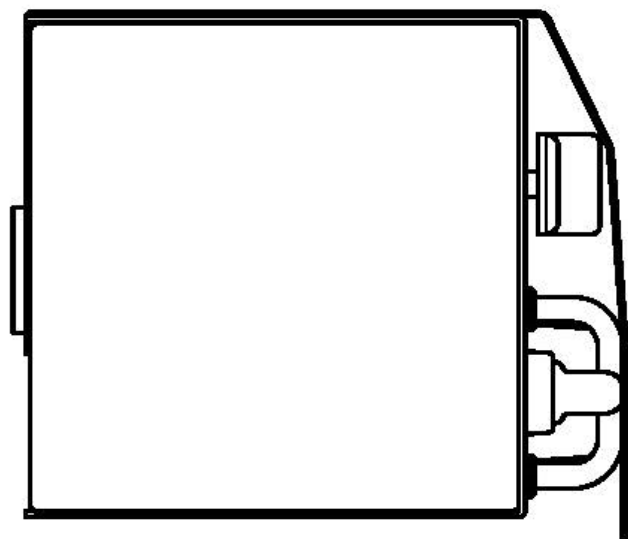
噴霧ノズル取付部



バッテリーケース



# 農薬散布機 操作パネルのご紹介



- ①電源ON
- ⑤スタートボタン
- ②バッテリー残量計
- ⑥手動モード…移動のみ、噴霧のみ行う
- ③散布モード…噴霧のタイミングを決定します
- ⑦昭光ブザー
- ④前進/後進速度調整
- ⑧非常停止ボタン

# 農薬散布機 機能(復路のみ散布の場合)



①スタートボタン  
(前進速度MAX)  
レール最奥まで前進

②黄色のマグネットを検知  
自動で噴霧開始し後進開始

③任意の速度で噴霧しながら  
後進

④白いマグネットを検知  
して停車、噴霧終了  
隣のレールへ台車とマグ  
ネットを移動



## 導入事例

### 電動作業車



栃木県のゆめファーム全農とちぎ様にて高所作業車を使用した栽培管理業務の時間を計測頂きました。

パイプレールありとなしで比較し、吊り下げずらし、クリップ誘引、芽かき作業が13~44%削減できたとご報告いただきました。  
(2018年8月号のグリーンレポートNo,590に掲載)

### 農薬散布機



愛知県のトマト農家様ではタキゲンパイプレールと農薬散布機を使用して散布時間を計測頂きました。

規模 通路長さ46m、通路数42列  
現状、園主が手押しの台車で噴霧しており、3時間かかっています。農薬散布機を使用し従業員に作業をしてもらったところ、同様の3時間で終わらせることができました。園主本人が熱いビニールハウス内での作業を行わず、台車も軽量なので体の負担が少なくなったので大変喜ばれております。

## 今後の展望

### タキゲンと農業の出会い

今後も、農家の皆様の声を基に製品の改良や新しい提案を続けていき、より良い環境を作り出すことで、業界全体を盛り上げていきたいと考えています。



